

mFOLFOX6 ± Bev療法（2週毎）

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
ベバシズマブ注	5mg/kg	30分 ^{*1}	↓													
デキサメタゾン注	6.6mg	30分	↓													
パロノセトロン注	0.75mg															
オキサリプラチン注	85mg/m ²	2時間 ^{*2}	↓													
レボホリナート注	200mg/m ²	2時間 ^{*2}	↓													
フルオロウラシル注	400mg/m ²	5分	↓													
フルオロウラシル注	2400mg/m ²	46時間	↓													

*1：初回90分、2回目60分、3回目以降30分へ短縮可能

*2：同時に投与

■副作用への対応

- 高血圧 ----- 血圧が上昇する可能性があるため家庭血圧を記録する。（ベバシズマブ）
- タンパク尿 ----- 定期的に尿検査を行う。（ベバシズマブ）
- 鼻血 ----- 強く鼻をかんだり触ったりしない。鼻血はほとんどの場合は軽度で、安静にしていれば止まる。（ベバシズマブ）
- 末梢神経障害 ----- 冷感刺激を避けること（特に点滴後5日間程度）。（オキサリプラチン）
- 悪心嘔吐、食欲不振 ----- 食事が摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。
- 便秘 ----- 点滴後1週間は便が出にくくなることがあるので、排便記録をつける。便秘薬が処方されている場合は使用する。
- 下痢 ----- 点滴後2週目以降に便が緩くなることもあるので、排便記録をつける。
- 口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回（8回/日以上）のうがいをする。
- 好中球減少 ----- 感染症予防のために、外出後だけでなく自宅で過ごす時も手洗い・うがいを頻回（8回/日以上）に行う。